

研究課題番号	1-2102
研究課題名	脱炭素化を目指した汚染バイオマスの先進的エネルギー変換技術システムの開発と実装シナリオの設計及び評価
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	倉持秀敏

1. 委員の指摘及び提言概要

喫緊の課題とした放射性セシウム汚染の木質バイオマスに関するエネルギー転換技術開発では、燃焼、熱的ガス化プロセスともに同セシウムの基礎挙動および管理上の課題を明らかにし、幅広い成果を得て目標を達成した。また中長期的観点から、木質バイオマス発電と有機性廃棄物メタン発酵連携システム開発において、発酵過程における CO₂ はじめ各種物質挙動の把握を通じ、脱炭素型先進的発電システムへの道筋を描いた。これら成果を軸とした浜通り地域における復興と連動した脱炭素まちづくりに関して、復興実装シナリオの提案に基づく自治体との連携努力により地域計画の策定および実施への支援がなされた。今後、より具体的な社会実装シナリオの確立、実装効果とコストの定量化さらに情報発信と十分な意見交換を継続して期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A